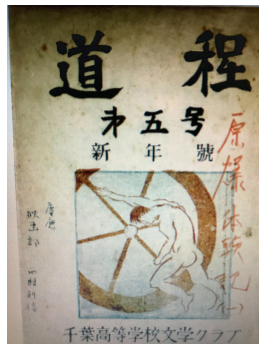


第11回 ピースフェア2024 in 千葉

6/22(土)16:00～17:00 ステージイベント

広島第二中学校2年 被爆者 西村利信



手記『原爆体験記』

～千葉高校2年生の記した焦土の記録～

朗読 土屋 誠

語り 西村桂子(義娘/長男の嫁)



広島での被爆体験を千葉高校の文学誌に綴った手記、GHQの検閲を逃れ自宅で69年間ひっそりと保管し家族にも見せることはなかった原爆体験記は、晩年(2018年)周囲の説得により公表され、新聞やネットで反響を呼んだ。若い人たちにも焦土化した広島を忘れないでほしいと語った故西村利信が残した「原爆体験記」の思いを朗読とともに長男の嫁が紹介します。(体験記 執筆1949年/千葉高校2年生時)

肺がん宣告を受けた義父が自宅で迎えた人生の最期についてもお伝えします。

中国軍艦司令部 陸軍中佐

西村利美(父親)

1900.4.6-1945.8.6 行年45歳

西村利信

1931.7.19-2018.10.31 行年87歳

HP「言の葉(岡崎弥保公式サイト)」にて「原爆体験記」が全文公開されています。



問合せ 西村桂子

keikofunnytalk@gmail.com

原爆体験記は¥100にて受付で販売いたします。

利信

被爆

14歳

- ・当時旧制広島中学校2年生
- ・父と弟を亡くす

17歳

千葉高校2年

- ・文学クラブに入る
- ・原爆体験記を執筆

69年間の封印

86歳

2017年4月

- ・ガン宣告(ステージ4)
- ・治療をしないと宣言

86歳

2018年1月

- ・原爆体験記を長男の嫁に手渡す

86歳

2018年5月

- ・原爆体験記を公表(ネットにも公開)

87歳

2018年8月

- ・東京新聞一面に掲載
- ・朝日新聞/毎日新聞など

87歳

2018年9月

- ・歩行困難
- ・食欲減退

87歳

2018年10月

- ・自宅で永眠